

令和元年度
地方創生に関する事業実績

令和2年12月17日

西予市政策企画部 政策推進課

地方創生推進交付金

【県連携事業】 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業（1/2）		事業担当課	教育部
事務事業名	各種大会補助事業			スポーツ・文化課
事業期間	平成28年度～令和2年度		事業費	500,000 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	まちの創生	(うち国費)	250,000 円
			(うち市費)	250,000 円

事業の概要

■ 事業内容

各種大会補助事業では、サイクリング文化の推進及び四国西予ジオパークの啓発を目的として第6回サイクリングin四国西予ジオパークを実施。ビギナー・エキスパートの2コースを準備。県内外から137名の参加があった。エイドステーションにおいては、各地区の特産品を準備。西予市野村町、城川町及びジオパークのPRにもつながった。

■ 事業費内訳

各種大会補助事業
(主な事業経費)
イベント運営費

金額 (円)
500,000

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 観光入込客数 (総数・千人) (事業開始前：27,085千人)
- ② 観光客消費額 (億円) (事業開始前：1,101億円)
- ③ サイクリングガイドの養成人数 (事業開始前：-人)
- ④ 台湾人延べ宿泊者数 (事業開始前：-人泊)

指標値(R2.3)	R2.3時点
+809千人	1,249千人
+27.6億円	+41.0億円
+27人	+51人
+8,700人泊	+1,010人泊

■ 取組内容

サイクリング文化の推進、四国西予ジオパークの普及啓発及び野村地区並びに城川地区の特産品PR。

■ 写真等【参考】

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	—
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



第6回サイクリングin四国西予ジオパーク (令和元年度)

■ 令和2年度の方針

サイクリング文化の推進及び四国西予ジオパークの普及啓発を目的として引き続き実施をする予定である。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

■ 担当者による評価

愛媛県が推進している「自転車文化」について、これまで基礎づくりが中心であった取組みを深化させ、より大きな消費行動が期待できる一般層(ファミリー層)まで裾野を拡大するとともに、誘客による交流人口の増加を図ることで、将来的には国内外で「サイクリングパラダイス愛媛」の認知度を向上させ、地域経済の活性化につなげる。平成30年の災害によりコースを変更。コースの復旧までは、起伏の激しいコースとなるため、コースの高低について、さらに周知する必要がある。

【県連携事業】 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業（2/2）		事業担当課	産業部
事務事業名	SEA TO SUMMIT事業			経済振興課
事業期間	平成28年度～令和2年度		事業費	6,000,000 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	まちの創生	(うち国費)	3,000,000 円
			(うち市費)	3,000,000 円

事業の概要

■ 事業内容

本事業は2日間にわたる事業となっており、1日目は四国西予ジオパークの魅力を伝える環境シンポジウム、2日目はアウトドアイベントを行います。アウトドアイベントでは、カヤックなどのパドルスポーツ、自転車、登山の3つの方法で海から山頂を目指す大会で、西予市の海、里、山など多様な自然を体で直接感じていただけます。

■ 事業費内訳

SEA TO SUMMIT事業
(主な事業経費)

イベント運営費、モンベルパッケージ費用

金額 (円)
6,000,000

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 観光入込客数 (総数・千人) (事業開始前：27,085千人)
- ② 観光客消費額 (億円) (事業開始前：1,101億円)
- ③ サイクリングガイドの養成人数 (事業開始前：21人)
- ④ 台湾人延べ宿泊者数 (事業開始前：-人泊)

指標値(R2.3)

- +809千人
- +27.6億円
- +27人
- +8,700人泊

R2.3時点

- 1,249千人
- +41.0億円
- +51人
- +1,010人泊

■ 取組内容

- 1日目 環境シンポジウム
- 2日目 アウトドアイベント
(カヤック10km、自転車44km、ハイク4km)

■ 写真等 (参考)



■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	○
③事業の継続 (現行)	—
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 令和2年度の方針

令和2年度から西条市が同事業に取り組むこととなり、隔年で交互に事業を実施していくこととなった。今年度は西条市で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
③地方創生に効果があった	○		
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

平成28年度から実施している事業であるが、年々参加者数が減少している。同時期に県内でサイクリングイベントが増加していること、大会の内容がハードであること等が原因と考えている。また、令和2年度からは西条市で同事業が開催されることとなり、隔年での実施となった。今後は参加者が増加するよう事業内容についても検討を行っていく必要がある。

【県連携事業】 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業（1/4）		事業担当課	産業部
事務事業名	雇用創造推進事業			経済振興課
事業期間	平成29年度～令和3年度		事業費	1,208,912 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	まちの創生	(うち国費)	604,456 円
			(うち市費)	604,456 円

事業の概要

■ 事業内容

西予市の雇用情勢を改善するため、令和元年度は雇用創造促進協議会のホームページにおいて、市内講座の周知を行い、合同就職面接会を含めビジネススキルアップ講座を15回開催した。ビジネススキルアップ等講座参加者から高評価を得ている。

■ 事業費内訳

雇用創造推進事業
(主な事業経費)

- ・各種講座等のチラシ・ポスター作成
- ・合同就職面接会の開催

金額 (円)

1,208,912

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 社会減の縮小数 (事業開始前：3,647人の転出超過)
- ② 県外からの移住者数 (事業開始前：274人)
- ③ 観光入込客数 (総数・千人) (事業開始前：27,085千人)
- ④ 観光客消費額 (億円) (事業開始前：1,101億円)

指標値(R2.3)

+400人

+223人

+811千人

+27.9億円

R2.3時点

-171人

+194人

+1,249千人

+41.0億円

■ 取組内容

- 合同就職面接会開催
- ビジネススキルアップ講座開催
- 事業周知

■ 写真等

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	○
②事業内容の見直し (改善)	○
③事業の継続 (現行)	—
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 令和2年度の方針

近年雇用情勢が急速に売り手市場となっており、各企業も人材を探していることから、例年以上に人材育成に関わるセミナーの周知等を進めていきたい。



ホームページ



合同就職面接会

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

■ 担当者による評価

令和元年度合同就職面接会については、市内17企業と37名の就職希望申込者があり、7名の採用者が生まれている。参加企業及び就職希望者において95%の方々が「次回も参加したい」や「面接して情報収集できて良かった」「こういう機会があって良かった」と回答しており、次年度に向けて雇用情勢や就職希望者の情報を集めながら、より西予市に合った就業の促進と地域内の雇用の拡大を進めていくとともに、雇用関係の情報発信を進めていきたい。

【県連携事業】 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業（2/4）		事業担当課	産業部
事務事業名	市観光PR事業			経済振興課
事業期間	平成29年度～令和3年度		事業費	0 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	まちの創生	(うち国費)	0 円
			(うち市費)	0 円

事業の概要

■ 事業内容	■ 事業費内訳	金額 (円)
プレミアムダイニングでは「四国西予ジオパーク」の持つ魅力を市内外にPRするとともに、市内の食材を通して、「ジオの恵み」の豊かさ、ポテンシャルの高さをアピールし、西予市の誘客、物産振興につなげることを目的に開催している。	市観光PR事業 (主な事業経費)	0
	委託料	

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)	指標値(R2.3)	R2.3時点
① 社会減の縮小数 (事業開始前：3,647人の転出超過)	+400人	-171人
② 県外からの移住者数 (事業開始前：274人)	+223人	+194人
③ 観光入込客数 (総数・千人) (事業開始前：27,085千人)	+811千人	+1,249千人
④ 観光客消費額 (億円) (事業開始前：1,101億円)	+27.9億円	+41.0億円

■ 取組内容
 ・令和元年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け事業中止

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	—
③事業の継続 (現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 写真等 (参考) H29年度実施分



■ 令和2年度の方針
 引き続き西予市の誘客、物産振興につなげることを目的とし事業を実施する。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	—
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	—	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価
 令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。令和2年度は引き続き西予市の誘客、物産振興につなげることを目的とし、明浜町大早津海水浴場でプレミアムダイニングを実施できるよう検討している。

【県連携事業】 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業（3/4）		事業担当課	政策企画部
事務事業名	ジオパーク推進事業			まちづくり推進課
事業期間	平成29年度～令和3年度		事業費	8,214,117 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	まちの創生	(うち国費)	4,107,058 円
			(うち市費)	4,107,059 円

事業の概要

■ 事業内容

科学的に貴重な地質遺産と、それに由来した自然遺産や文化遺産などが見られる「大地の公園」がジオパークである。市内に数多く存在する地域資源を、生涯学習や学校教育の場、新たな観光資源として、地域振興に活かす「ジオパーク活動」を通じながら、「ジオパークブランド」を活用し、地域の持続的な発展につなげる。

また、30年7月豪雨後は、地形・地質に着目した、防災・減災教育を実施している。

■ 事業費内訳

ジオパーク推進事業
(主な事業経費)

- ・ジオイベント委託料
- ・ジオパークPR委託料

金額 (円)

8,214,117

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ① 社会減の縮小数 (事業開始前：3,647人の転出超過) | |
| ② 県外からの移住者数 (事業開始前：274人) | |
| ③ 観光入込客数 (総数・千人) (事業開始前：27,085千人) | |
| ④ 観光客消費額 (億円) (事業開始前：1,101億円) | |

指標値(R2.3)

+400人
+223人
+811千人
+27.9億円

R2.3時点

-171人
+194人
+1,249千人
+41.0億円

■ 取組内容

- 四国西予ジオパーク魅力向上のためのコンテンツ充実
- 四国西予ジオパークのPR促進
- 防災・減災教育の実施

■ 写真等

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	—
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



●せいよ自然と暮らしの
カレッジ講座開催



●ジオパーク広告

■ 令和2年度の方針

令和2年度も、引き続き、学校教育や生涯学習活動、ガイドの育成及び研修、情報発信などPR活動を実施し、ジオパーク推進を図っている。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

学校教育や生涯学習でのジオパークの取り組み、サイト等の案内するガイドの養成、四国西予ジオパークを市内外に発信するためのPR活動を実施した。学校教育では市内の多くの学校がジオサイトを見学し、地域の宝について学習を深めた。生涯学習では、「せいよ自然と暮らしのカレッジ」と題し座学とフィールドワークを交えてジオパークについて学び考える講座を開催した。ガイド養成では、新規ガイドの養成や、ガイドのレベルアップを図る講座を開催した。情報発信等PR活動については、ジオパークを案内するジオマップの作成や、ジオミュージックとドローンの映像を組み合わせたPR動画を、松山空港や松山観光港等で放映することで、認知度の向上を図ることができた。また、平成30年7月豪雨災害を教訓に、ジオパークをどう地域防災活動に活かしていくかなど、ジオパークと防災のつながりについて教育分野において進めていく。

【県連携事業】 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業（4/4）	事業担当課	政策企画部
事務事業名	ジオパーク拠点施設整備事業		まちづくり推進課
事業期間	平成29年度～令和3年度	事業費	998,900 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類 まちの創生	(うち国費)	499,450 円
		(うち市費)	499,450 円

事業の概要

■ 事業内容

認定申請時においてジオパーク拠点施設と設定していた「城川地質館」に関して、現在の立地条件や同館までの道路網が十分に整備されていないことを踏まえ、拠点施設の在り方の方針を定め、城川支所の既存の公共施設と一部機能の分担及びスペースの有効活用を行うことを念頭に、新たな拠点施設を整備する。

■ 事業費内訳

ジオパーク拠点施設整備事業	金額 (円)
(主な事業経費)	998,900
・ 内容検討ファシリテーター委託料	

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 社会減の縮小数 (事業開始前：3,647人の転出超過)
- ② 県外からの移住者数 (事業開始前：274人)
- ③ 観光入込客数 (総数・千人) (事業開始前：27,085千人)
- ④ 観光客消費額 (億円) (事業開始前：1,101億円)

指標値(R2.3)	R2.3時点
+400人	-171人
+223人	+194人
+811千人	+1,249千人
+27.9億円	+41.0億円

■ 取組内容

- 基本設計
- 展示内容の検討
- 館の運営管理計画の検討

■ 今後の事業方針

① 追加等更に発展させる (拡充)	—
② 事業内容の見直し (改善)	—
③ 事業の継続 (現行)	○
④ 事業の中止	—
⑤ 予定通り事業終了	—

■ 令和2年度の方針

展示の実施設計に向けた検討及び運営計画について検討を行う。

■ 写真等



事業評価

① 地方創生に非常に効果的であった	—	① 総合戦略のKPI達成に有効であった	○
② 地方創生に相当程度効果があった	—		
③ 地方創生に効果があった	○	② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④ 地方創生に効果がなかった	—		

■ 担当者による評価

拠点施設整備については、有識者による建設検討委員会、専門家による展示内容検討委員会を設置し、建設内容や展示内容について協議を実施した。令和2年度は、委託時車と展示の実施設計に向けた検討を行っている。建設の時期については、令和元年度の着工を予定していたが、平成30年7月豪雨災害により、災害からの復興が最優先となり、令和2年度着工、令和4年度4月の開館を目指している。

【県連携事業】 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業		事業担当課	教育部
事務事業名	保健体育総務庶務事業			スポーツ・文化課
事業期間	平成30年度～令和2年度		事業費	500,000 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	しごと、ひとの創生	(うち国費)	250,000 円
			(うち市費)	250,000 円

事業の概要

■ 事業内容

野球・ソフトボール等を活用したイベントの開催を促進し、「野球王国・愛媛」の認知度の向上、「野球の聖地」としての地位の確立、野球人口の拡大、競技力の向上等を図る。

■ 事業費内訳

保健体育総務庶務事業
(主な事業経費)
・負担金

金額 (円)
500,000

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 社会減の縮小数 (平成27年: 3,247人の転出超過)
- ② 県外からの移住者数 (平成27年度: 1,085人)
- ③ 観光入込客数 (総数・千人) (平成27年: 26,999千人)
- ④ 観光客消費額 (億円) (平成27年: 1,125億円)

指標値(R2.3)
+400人

+223人

+387千人

+24.4億円

R2.3時点
-171人

+194人

+1,249千人

+41.0億円

■ 取組内容

- スポーツ大会・合宿の誘致活動
- スポーツ団体と連携した商店街などにおけるスポーツイベントの実施などに係る経費

■ 写真等



■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	—
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 令和2年度の方針

この事業を活用し、野球等の人口拡大、競技力の向上等に繋げられるよう進めていきたい。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

令和元年5月1日に、「えひめ愛・野球博事業 西予市図書交流館 まなびあん開館イベント～投げて! 打って 楽しむ!～」を開催した。この野球体験教室を通じて、野球の基礎知識の向上や野球人口の拡大、普及に繋げることができた。

【県連携事業】 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	スゴ技、すごモノを世界へ売り込む愛媛の営業推進事業		事業担当課	産業部
事務事業名	ジオブランド推進事業			経済振興課
事業期間	平成30年度～令和2年度		事業費	12,606,985 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	まちの創生	(うち国費)	6,303,492 円
			(うち市費)	6,303,493 円

事業の概要

■ 事業内容

当市のまちづくりの担い棒であるジオパークを中心として、ジオパークの物語と西予市の産品を結びつけた地域産品の魅力向上、販路拡大を図るべく、首都圏及び関西圏等でのフェアや展示会に出展した。

また、愛媛県等との情報共有を引き続き強化し、共同での事業実施に努めた。

■ 事業費内訳

ジオブランド推進事業
(主な事業経費)

- ・都市部バイヤー向け展示会
- ・市産品販売促進事業支援補助
- ・農林水産加工品開発支援補助

金額 (円)

12,606,985

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 県関与年間成約額 (億円)
- ② 商談会・フェア開催 (参加) 件数 (件)
- ③ 商談会・フェア参加企業数 (社)

指標値(R2.3)

+10億円

+20件

+200社

R2.3時点

+66.4億円

+21件

+220社

■ 取組内容

- 展示商談会出展 6回 (東京、大阪、福岡)
- フェア等でのPR出展
- 首都圏バイヤー等への営業活動
- 高級スーパー、デパート等でのブランドコーナー設置

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	—
③事業の継続 (現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 写真等



愛媛県との合同出展



首都圏での展示会

■ 令和2年度の方針

アンケートを元に参加展示会を取捨選択するとともに、県等との合同ブースによる集客の強化と西予市の魅力発信力の向上を図りながら事業実施する。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

■ 担当者による評価

首都圏バイヤーの西予市招致やアンケートを元にした展示会出展などを図り、一定の効果を得ている。市内事業者でも、ロット数や販売先の種類など多種多様な要望があるため、一概に大きな展示会で年間販売見込額の向上のみを追い求めるのではなく、中小の企業にも寄り添いながら西予市ならではの商品を多くの方に広めていきたい。

地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	西予市外国人材活用事業		事業担当課	医療介護部
事務事業名	外国人活用推進事業			医療対策室
事業期間	平成30年度～令和2年度		事業費	462,526 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	ひと、まちの創生	(うち国費)	231,263 円
			(うち市費)	231,263 円

事業の概要

■ 事業内容 介護・福祉分野の人手不足の解消として、モンゴル国立医科大学と連携協定を締結し、毎年2名～8名程度の卒業生を介護施設等に受入れ、労働力の確保を行う。また外国人との共生に向けた環境づくりを行う。	■ 事業費内訳 外国人活用推進事業 (主な事業経費) ・事業コーディネータ謝金 ・受入れ施設研修会等	金額 (円) 462,526
--	---	-------------------

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI) ① 外国人受け入れ数 (人) ② 外国人の地域コミュニティの参加日数延べ (日) ③ 空き家利活用件数 (件) ④ 西予市における転入者数 (人)	指標値(R2.3) +2人 +10日 +0件 +200人	R2.3時点 0人 0日 0件 798人
--	--	----------------------------------

■ 取組内容
 外国人材受入れ予定施設へ研修会を開催し、職員・施設利用者への取り組み内容の周知を図った。コーディネータと連携しながら、外国人材の選定を進め、受入れ体制の準備を進めた。

■ 写真等

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	—
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



受入れ施設研修



モンゴル医科大学との協定

■ 令和2年度の方針

空き家等を改修し、外国人材の滞在施設を整備し、受入れ準備を進める。また早期の人材確保に向け監理団体との連携して、情報の共有を図る。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

受入れ施設で、モンゴル人講師により国の概要や風土について研修し、外国人への理解を深めながら、受入れ体制準備を進めている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、諸外国との交流が難航し、外国人の選定・確保が停滞している。引き続き、準備を進めながら、施設側の受入れ体制の構築を図る。

地方創生拠点整備交付金

【平成29年度整備事業】 地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	行ってよし・住んでよし・せiyoshi移住・定住・安住プロジェクト		事業担当課	政策企画部
事務事業名	移住交流促進事業			まちづくり推進課
事業期間	平成29年度～令和2年度		H29事業費	11,597,510 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	しごとの創生	(うち国費)	5,798,755 円
			(うち市費)	5,798,755 円

※平成29年度の整備事業費

事業の概要

■ 事業内容

小学校統廃合に伴い平成27年3月31日に廃校となった、旧西予市立狩江小学校の教職員宿舎を転用及び施設改修し、移住希望者向けのお試し移住体験施設として整備・活用していくことで移住交流促進を図る。

■ 事業費内訳

移住交流促進事業
(主な事業経費)

- ・狩江小学校教職員宿舎改修工事
- ・移住体験ツアー

金額 (円)

11,597,510

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 西予市明浜地区における転入者数(人)(事業開始前73人)
- ② 施設利用料金収入 (円) (事業開始前0円)
- ③ 空き家情報登録物件の売買及び賃貸の成約件数 (件)
(事業開始前3件)

指標値(R2.3)

76人

80,000円

10件

R2.3時点

55人

128,700円

17件

■ 取組内容

- 空家の利活用による移住促進
- 移住体験インターンシップツアーの実施
- 利用料：900円/1日
- 施設を利用した移住希望者数…12組 27人

■ 写真等

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	—
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



■ 令和2年度の方針

コロナ禍により利用が大幅に落ち込むことが予想できるが、情勢を見極めながら感染防止対策を講じたうえで移住促進を図りたい。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

施設運営を所在する地域づくり組織に移住交流促進業務を委託している。住民主体の交流活動により、地域住民の移住促進に対する意識向上が図れている。令和元年度は12組27人の移住希望者が利用し、移住交流促進に一定の成果が上がっている。

【平成29年度整備事業】地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	四国西予ジオパーク・ビジターセンターを中心とした観光客の周遊プロジェクト		事業担当課	総務企画部
事務事業名	ジオパーク推進事業			まちづくり推進課
事業期間	平成29年度～令和2年度		H29事業費	5,500,000 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	しごと、まちの創生	(うち国費)	2,750,000 円
			(うち市費)	2,750,000 円

※平成29年度の整備事業費

事業の概要

■ 事業内容

科学的に貴重な地質遺産と、それに由来した自然遺産や文化遺産などが見られる「大地の公園」がジオパークである。市内に数多く存在する地域資源を、生涯学習や学校教育の場、新たな観光資源として、道の駅どんぶり館内に四国西予ジオパーク・ビジターセンターを設置している。しかし平成30年7月豪雨災害の影響でガイド利用者が少なくなっている。

■ 事業費内訳

ジオパーク推進事業

金額 (円)

5,500,000

(主な事業経費)

・四国西予ジオパークビジターセンター工事請負費

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

① 道の駅 (どんぶり館) の来館者数の増加
(事業開始前497,259人)

指標値(R2.3)

R2.3時点

+2000人

-8,808人

② ジオガイド案内者数 (事業開始前1,211人)

+200人

-225人

■ 取組内容

○四国西予ジオパークビジターセンター整備

■ 写真等

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	—
③事業の継続 (現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



道の駅どんぶり館



ビジターセンター

■ 令和2年度の方針

市内でも観光客の多い道の駅どんぶり館にて、四国西予ジオパークの基本情報を取得し、ジオパークの魅力を確認し、観光につなげていく

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

西予市では、「道の駅どんぶり館」を四国西予ジオパークのビジターセンターとして位置づけ、四国西予ジオパークの見どころや、ジオパークの解説を行う展示施設を設置した。施設内には、西予市の床地図やジオパーク解説ポスター、直接石に触れる岩石の展示、愛媛大学学生による調査研究等のポスター等を掲示している。施設の設置により、特にジオパークを目的に来た方以外のどんぶり館への来場者へも、ジオパークをPRすることができることで、少しでも多くの方にジオパークに関して興味を持っていただける施設になっている。令和元年度も、平成30年度7月豪雨災害情報などの掲示を実施している。令和2年は、コロナウィルス感染拡大が懸念されたことによりガイド依頼がなかったため、KPI数値が伸びなかった。

【平成29年度整備事業】地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	歴史的町並みを活かした観光まちづくり拠点整備プロジェクト		事業担当課	産業部
事務事業名	文化の里休憩所リノベーション事業			経済振興課
事業期間	平成29年度～令和2年度		H29事業費	8,221,064 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	しごとの創生	(うち国費)	4,110,532 円
			(うち市費)	4,110,532 円

※平成29年度の整備事業費

事業の概要

■ 事業内容 前年度に引き続き、リノベーションされた文化の里施設にて古い町並みを観光資源として活かした特産品販売や観光案内、各種イベント等を行っている。	■ 事業費内訳 文化の里休憩所リノベーション事業 (主な事業経費)	金額 (円) 8,221,064
	・文化の里休憩所改修工事 ・クラウドソーシングセミナー	

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI) ① 特産品の販売や観光客等を対象にした体験プログラムの実施に伴う収入 (千円) (事業開始前100千円)	指標値(R2.3) 2,000千円	R2.3時点 139千円
② 観光案内等施設利用者数 (人) (事業開始前300人)	700人	3,704人
③ ワーキングスペースの利用者数 (人) (事業開始前0人)	150人	1,000人

- 取組内容**
- 利用啓発イベントの実施 (子育て世代)
 - 地元住民との特産品開発
 - 毎月第一木曜日サロン開催 (地元住民)

■ 写真等

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	—
③事業の継続 (現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



● 怪談 & 提灯づくり



● 地元食材で作成したクッキー

■ 令和2年度の方針

今後も利用啓発のイベントを継続しながら、特産品の検討やキッチンを使った事業や商品開発を地元の方と一体となり進めていきさらなる施設活用を図っていく。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	○		
③地方創生に効果があった	—	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

継続して、親子参加でのイベント開催により子育て世代の方に施設をしてもらい利用啓発につながってきている。毎月第一木曜日のサロンや七夕の笹飾り作成など地元密着した取り組みを行い、地元住民の方の憩いの場にもなっている。地元有志での地元食材を使ったクッキーの提供や地元オレンジジュースのカップ売りも引き続き進め集客に効果がでている。

【平成29年度整備事業】地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	働く女性を支援する子育て応援環境整備プロジェクト		事業担当課	福祉事務所
事務事業名	保育所等施設整備事業			子育て支援課
事業期間	平成29年度～令和2年度		H29事業費	69,302,326 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	ひとの創生	(うち国費)	34,651,163 円
			(うち市費)	34,651,163 円

※平成29年度の整備事業費

事業の概要

■事業内容

スマイル保育園は、西予市で初となる地域型保育事業所のうち事業所内保育施設として平成30年4月1日に開園を迎えた。主に、0-2歳になる西予市民病院の医師・看護師等の子どもを対象としている他、地域の子どもを一部受け入れている。スマイル保育園では、病児保育室を併設し、仕事を持つ保護者の負担軽減を図り、「子育てするなら西予」を体感できる施設となっている。

■事業費内訳

保育所等施設整備事業
(主な事業経費)

金額 (円)
69,302,326

- ・スマイル保育園整備費
- ・備品購入

事業の実績・取組状況

■本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 西予市民病院における新規就業者数 (看護師)
(事業開始前1人)
- ② 病児保育事業利用者数 (西予市全域)

指標値(R2.3)	R2.3時点
6人	3人
1,100人	364人

■取組内容

- 事業所内保育・病児保育施設の運営
- 市民病院従業員への保育料の一部補助
- 入園者数 平成30年4月…7人 平成31年4月…10人 令和2年4月…12名
- 病児保育年間利用者数…364人

■今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	—
③事業の継続 (現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■令和2年度の方針

医療の確保の観点から、西予市民病院に限らず野村病院、つくし苑などの医療関係者の利用も促進する。また、併設する病児保育施設との連携も図り、子育て支援ニーズに対応をする。

■写真等



スマイル保育園外観



保育室 1 - 2 歳

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

■担当者による評価

令和元年度は、3月末の時点で定員15人の事業所内保育所に15人が入園し、病児保育施設は年間364人の利用があった。保育士の確保が課題であるが、子育て世代が安心して働くことができる保育環境を周知し、施設の活用を図り仕事と子育ての両立が実現可能なまちとして市外からの転入者増加と市民病院従業員の増加を目指す。

【平成29年度整備事業】地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	子育てするなら「せいよ」しろかわ森の保育園プロジェクト		事業担当課	福祉事務所
事務事業名	保育所等施設整備事業			子育て支援課
事業期間	平成29年度～令和2年度		H29事業費	81,335,040 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	ひとの創生	(うち国費)	40,667,520 円
			(うち市費)	40,667,520 円

※平成29年度の整備事業費

事業の概要

■事業内容

しろかわ保育所は、魚成保育所と土居保育所を移転・統合し、保育所型の認定こども園として、平成30年4月1日に開園した。城川地区の主産業である林業を活用し、ウッドスタート宣言を実施し、木製遊具の設置や保育所の木質化整備を実施した。

また、地域の特徴を活かした森と触れあう園外保育の実施など特徴ある保育を実施している。

■事業費内訳

保育所等施設整備事業
(主な事業経費)

金額 (円)

81,335,040

- ・しろかわ保育所整備費
- ・木育事業の推進

事業の実績・取組状況

■本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 城川町への転入者数 (事業開始前70人)
- ② 年間出生児数 (事業開始前217人)

指標値(R2.3)

R2.3時点

90人

36人

225人

192

■取組内容

○木育に関する教室

○平成30年…63人入園 平成31年(令和元年)…64人入園 令和2年…57人入園

○一時預かり(一般型) 利用者数(年間) 18人 平成31年(令和元年) 49人

○一時預かり(幼稚型) 利用者数(年間) 177人 平成31年(令和元年) 301人

■写真等

■今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	—
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



せい坊との交流会



木製屋外遊具

■令和2年度の方針

子育て支援を充実させることによって、地域の魅力高め転入者の増加を図るとともに、木育を通じて、地域の豊かな自然に触れながら、ふるさとを愛し、感性豊かな子どもが育つ環境をつくる。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■担当者による評価

令和元年度は、保育所内での相談事業や一時預かり事業を実施し、城川地域における子育ての拠点施設として、その役割を果たす事ができた。

【平成30年度整備事業】地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	ジオの恵み！ジオキッチンプロジェクト		事業担当課	産業部
事務事業名	物産会館整備事業			農業水産課
事業期間	平成30年度～令和4年度		H30事業費	186,651,000 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	しごと、まちの創生	(うち国費)	93,325,500 円
			(うち市費)	93,325,500 円

※平成30年度の整備事業費

事業の概要

■事業内容

道の駅どんぶり館では、ジオパークを連想される映像や音楽コンテンツを活用し、視覚と聴覚を刺激する「ジオミュージック」という手法によるジオパークの魅力発信等を実施している。五感を刺激する映像や音楽に加えて味覚として「ジオの恵み（食材）」の魅力発信するレストラン及びイベントホールを整備することで、更なるジオパークの魅力発信と観光交流人口の拡大、地場産品等の消費拡大や地産地消を推進する。

■事業費内訳

物産会館整備事業
(主な事業経費)

金額 (円)
186,651,000

・ジオキッチン整備費

事業の実績・取組状況

■本事業における重要業績評価指数（KPI）

- | | 指標値(R2.3) | R2.3時点 |
|---|-----------|---------|
| ① 当該施設で食材として利用された農林水産物等の流通額（千円）（事業前0千円） | +2,340千円 | 1,690千円 |
| ② 食材として利用された市内農林水産物の量（t）（事業開始前0t） | 1.56 t | 0.93 t |
| ③ 施設を活用したイベント等の実施回数（回）（事業開始前0回） | 24回 | 18回 |

指標値(R2.3)

R2.3時点

■取組内容

○物産施設の整備

■写真等



■今後の事業方針

①追加等更に発展させる（拡充）	—
②事業内容の見直し（改善）	—
③事業の継続（現行）	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■令和2年度の方針

民間企業や各種団体の利用を推進するとともに、どんぶり館による特産品の開発を図っていきたい。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

■担当者による評価

令和元年度は、4月14日のオープン以降、レストランが85団体1,870名、スタジオが20回程度約1,400名の利用があり、「ジオの恵み」の魅力発信する拠点として一定の成果を上げることができた。今後も更なる利用者の増加を目指したい。

【令和元年度整備事業】 地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	ジオの恵み！ジオリゾートプロジェクト		事業担当課	産業部
事務事業名	ジオリゾート整備事業			経済振興課
事業期間	令和元年～令和5年度		事業費	399,799,480 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	しごとの創生	(うち国費)	168,358,740 円
			(うち市費)	231,440,740 円

事業の概要

■ 事業内容

四国西予ジオパークを活用した体験型メニューの推進と、高付加価値を付けた地元農林水産物をレストランで提供する滞在型観光宿泊施設を整備する。施設運営に当たっては、指定管理制度による民間委託とあわせて、地域や各種組織と連携し、効果的な情報発信と活用の検討を進め一層の誘客促進を図る。

■ 事業費内訳

ジオリゾート整備事業
(主な事業経費)

金額 (円)

399,799,480

・ 工事設計監理委託料

・ 工事費

解体、建築、電気設備、機械設備

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 整備施設の売り上げ (千円)
- ② 西予市の入込客数 (人)
- ③ 客室稼働率 (%)

指標値(R2.3)

0千円

0人

0%

R2.3時点

0千円

0人

0%

■ 取組内容

- 施設の整備

■ 写真等



■ 今後の事業方針

① 追加等更に発展させる (拡充)	—
② 事業内容の見直し (改善)	—
③ 事業の継続 (現行)	—
④ 事業の中止	—
⑤ 予定通り事業終了	○

■ 令和2年度の方針

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、資材等の入荷が遅れたため工事を完了することができず令和2年度へ繰り越すこととなった。令和2年5月15日に完成し、7月4日よりオープンした。

事業評価

① 地方創生に非常に効果的であった	—	① 総合戦略のKPI達成に有効であった	—
② 地方創生に相当程度効果があった	—		
③ 地方創生に効果があった	—	② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④ 地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、資材等の入荷が遅れたため令和2年度へ繰り越すこととなった。令和元年度としての事業評価はなし。

【令和元年度整備事業】地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施結果報告

交付対象事業の名称	せいよ「チャレンジスペース」プロジェクト～生涯活躍できるまち～		事業担当課	福祉事務所
事務事業名	せいよチャレンジスペース整備事業			福祉課
事業期間	令和元年～令和5年度		事業費	193,820,341 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	ひとの創生	(うち国費)	96,910,170 円
			(うち市費)	96,910,171 円

事業の概要

■ 事業内容

高齢者や障がい者、地域住民の経験を活かした、地元の農林水産物を加工・販売できる施設を整備し、誰もがチャレンジでき、活躍できる拠点施設を旧三瓶授産場跡地に整備する。施設整備後の利活用にあたっては、市の地域福祉計画と連動しながら取り組むことで、地域コミュニティの活性化と地域共生社会に積極的に取り組み、定住者・移住者の増加及び出生率の向上も目指す。

■ 事業費内訳

せいよチャレンジスペース整備事業 金額 (円) 193,820,341
(主な事業経費)

- ・ 工事設計監理委託料
- ・ 工事費
解体、建築、電気設備、機械設備

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

- ① 当該施設の物販売り上げ (千円)
- ② 当該施設利用者数 (人)
- ③ 市外からの転入者数 (人)

指標値(R2.3)

0千円
0人
0人

R2.3時点

0千円
0人
0人

■ 取組内容

- 拠点施設の整備
作業スペース1・2、地域交流スペース、オープンスペース、事務室ほか

■ 写真等



■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	—
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 令和2年度の方針

施設運営については、福祉の推進、また地域貢献の観点も含め民間のノウハウを活かすため、指定管理者を指定し、様々なアイデアを持ち寄りながら、地域共生社会の実現のため、効果的に運営し

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	—
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	—	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による自己評価

タイトなスケジュールではあったが、施設整備については順調に進めることができ、計画通り年度内に完成することができた。今後は、施設の目的達成に向け、指定管理者を選定し様々な事業を展開していく。

企業版ふるさと納税

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

交付対象事業の名称	大地の子～せいのジョエプロジェクト～（1/2）		事業担当課	福祉事務所
事務事業名	子育て応援券交付事業			子育て支援課
事業期間	平成29年度～令和元年度		事業費	8,373,432 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	しごと、ひとの創生	(うち寄附金)	6,601,000 円
			(うち市費)	1,772,432 円

事業の概要

■ 事業内容

少子化対策の一環として、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、安心して子どもを育てる環境の整備を図るため、満1歳未満の乳児の保護者に対して、子育て用品の購入に使える子育て応援券を交付する。

■ 事業費内訳

子育て応援券交付事業
(主な事業経費)

・ 子育て応援券交付費用

金額 (円)

8,373,432

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数（KPI）

- 20～40代転入者数（事業開始前173人）
- 年間出生児数（事業開始前228人）

指標値(R2.3)

190人

240人

R2.3時点

533人

192人

■ 取組内容

○ 子育て応援券の交付

平成31年4月以降に生まれた乳児・・・12カ月分（36,000円）

平成31年4月以降に転入した乳児・・・転入月から1歳の誕生日の属する月の前月分まで

■ 写真等

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる（拡充）	—
②事業内容の見直し（改善）	—
③事業の継続（現行）	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



子育て応援券

■ 令和2年度の方針

事業を継続し、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、安心して子どもを育てる環境整備を図る。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	○		
③地方創生に効果があった	—	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 担当者による評価

愛顔っ子応援券とは違い、第1子からを交付対象とし、使用できる商品の範囲も広いため令和元年度の申請に対する使用率は約93%と高く、保護者の経済的負担の軽減になっている。少子化対策につながっているかは、今後も継続し見極める必要がある。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

交付対象事業の名称	大地の子～せいのジオエンジェルプロジェクト～（2/2）		事業担当課	政策企画部・産業部・福祉事務所
事務事業名	木育推進事業			まちづくり推進課・林業課・子育て支援課
事業期間	平成29年度～令和元年度		事業費	5,050,604 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	分類	しごと、ひとの創生	（うち寄付金）	3,447,604 円
			（うち市費）	1,603,000 円

事業の概要

■ 事業内容

木育を推進するためウッドスタート宣言を行い、木のおもちゃに触れる機会として木育キャラバンを開催する。
また、10ヵ月健診時に、市内の木工職人が市産材で作製した木のおもちゃ「せいのたからばこ」と、名前と生年月日が刻印されたネームプレート进行贈呈する。そして、市内の小・中学校で林業教室を実施し、東京オリンピック・パラリンピックに係る日本の木材活用リレーに参加し、選手村に提供する木材の伐採及び搬出を行う。

■ 事業費内訳

木育推進事業

金額（円）

5,050,604

（主な事業経費）

- ・木育キャラバン実施費用
- ・ウッドスタート宣言 講師謝金
- ・木のおもちゃ製作委託料
- ・木育授業講師謝金

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数（KPI）

- ① 20～40代転入者数（事業開始前173人）
- ② 年間出生児数（事業開始前228人）

指標値(R2.3)

190人

240人

R2.3時点

533人

192人

■ 取組内容

- ウッドスタート宣言（市産材を積極的に活用して全ての市民が木材の温もりを感じながら暮らすことができるまちづくりを宣言すること。）
- 木育キャラバンの開催
- 西予市で誕生した乳児へおもちゃ・ネームプレートの贈呈
- 教育現場（小中学校）での木育事業の推進

■ 写真等



ウッドスタート宣言



木育キャラバン



誕生祝品



シュミレータによる

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる（拡充）	—
②事業内容の見直し（改善）	—
③事業の継続（現行）	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 令和2年度の方針

今年度は、小規模ながらも市内の児童福祉施設へのミニ木育キャラバン実施していく。また、木のおもちゃのデザインを2年ごとに変更していくため今後検討が必要である。そして、授業の一環として定着させ、林業の担い手を確保したい。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—		
②地方創生に相当程度効果があった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
③地方創生に効果があった	○		
④地方創生に効果が無かった	—	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—

■ 担当者による評価

・令和元年度は10ヵ月健康相談参加者187人に贈呈した。子どもが初めて出会う木のおもちゃのぬくもりを感じ、木材の良さを体感することで、将来にわたり木材に親しむ心を育むことができる。木のおもちゃはもちろん、ネームプレートは世界に一つしかないもので大変好評である。木のおもちゃのデザインを2年ごとに変更していくため今年度デザイン変更に向けての協議を進めている。
・林業教室は、地元で林業や木材産業に携わっている方を講師として招き、子どもたちにも森林、林業を身近なものとして感じてもらうことができた。今後は他の小中学校にも波及させるとともに、授業の一環として定着させ、林業の担い手を確保したい。